



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成 29年 6月 30日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ イヌジマノミライヲカンガエルカイ

団体名 犬島の未来を考える会

所在地

連絡先

フリガナ

代表者

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ㊦ 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	犬島学園 復活運動会
事業実施小学校区・地区	旧犬島学園・現朝日学区
事業実施回数	<u>新規</u> ・ 継続 回目 / [年度から]
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 犬島は現在人口約50人、平均年齢75歳の小さな島です。大きな産業もなく、過疎が進んでいますが、2008年から始まったアートプロジェクトにより、かつての銅の製錬所が美術館に生まれかわり、集落に点在するアート作品なども拡大して、2010年、2013年、2016年の瀬戸内国際芸術祭では、年間約5万人が来島しています。それ以外の年でも約2.5万人が来島しています。 若者の移住も数人あり、カフェを開いたり、美術館業務に従事したりや、「地域おこし協力隊」募集の動きなどで、移住・定住化にも布石を打ち始めてはいます。しかし、市街地調整区域であることから住居の問題があり、難易度が高いのが現状。また、仕事がない、学校がないこと、スーパーマーケットがないことなどの生活の不便さなどの理由でUターン（島の出身者・家族・親戚など）もほとんどない状態です。

事業の目的	※事業を実施する「目的」を記載してください。 最終的には、定住者促進を目的としています。その対象は、①ゲスト（美術館鑑賞での来島者など）②元島民（親族など関係者も含む）と双方向あります。 定住者促進には、「仕事の提供」もありますが、若いファミリーが暮らせる＝「保育所、学校の再開」というのもあります。 今年度は、かつてにぎやかだったという「犬島学園の運動会」を復活させることで、その卒業生たちが島に戻るきっかけになることを目的とします。さらには、そこに参加するゲストが「犬島はふるさとのようだ」「犬島に住んでみたい」というきっかけにしたいと思います。 また、この運動会をきっかけに、「犬島をふるさとと思う人たち」とのコミュニティ（ネットワーク）を組織化して、「犬島に住む人」を増やすだけでなく「犬島に住まわなくても犬島をふるさとと思う人」の両方を増やしていきたいと思っています。
事業の内容	※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。 ①9月24日（日）9：00～13：00 犬島自然の家（旧犬島学園）の運動場にて開催 初開催 －運動会ではかつての伝統種目なども復活させて、おじいさん・おばあさん世代⇄父母世代⇄孫世代⇄ひ孫世代と4世代の交流だけでなく、現島民、旧島民、アートで訪れた全世界・全国各地からのゲストとの交流の場になるように企画。 －昼食時には、島内元気会（おかあさんたちのグループ）や島内カフェが屋台をだし、食の交流も図る ②①をきっかけに、「犬島学園」のネットワークの構築 －①の参加者リストの作成 －①の卒業生の情報を中心に卒業生、元住民の名簿作成 －その名簿に対してのアプローチ（News Letter、Facebookなど） ・移住者体験ツアー（8月、10月、12月、2月実施） ・「犬島を楽しむ小包」（犬島でできた野菜や果樹、魚などの詰め合わせ。会員制）の開始 ③3月25日（日）9：00～13：00 犬島自然の家（旧犬島学園）の運動場にて開催 第2回目開催

期待される成果・目標	※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。 ・犬島学園の卒業生の参加があったか ・運動会が久しぶりに島に戻ってきたきっかけになったか ・現島民が喜び、島の活性（＝元気）につながったか ・次の開催が楽しみにになったか ・犬島をふるさとと思う人のネットワークができたか ・そのネットワークを継続させるしくみができたか ・定住者が増えたか
企画などの工夫	※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。 ・運動会の項目は、①犬島学園の運動会の定番種目であった仮装大会など独自のもの②それぞれの世代が参加可能なもの③交流を促すもの（借り物競争など）で構成予定 ・食は、犬島内の食堂、カフェの出店と犬島元気会（元気市の主催者）で用意。懐かしい犬島の素材を使った犬島らしい食を提供 ・「移住体験ツアー」では、実際に住まう家を改修するアクティビティをいれる ・「犬島を楽しむ小包」では、その時にできた野菜、果樹、魚、花などをつめあわせる。四季の定期コースなどにして、会員化する
協働する団体等	※事業実施にあたり協働することを想定している団体・企業・大学等の名称とその団体間の役割分担について記載してください。あるいは提案団体が既に協働組織となっている場合は、事業実施メンバーの備考欄に団体名をご記入ください。 ・公益財団法人 福武財団 →広報、集客など ・朝日学区のみなさま
事業の情報公開	※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。 ・市/区の広報誌への記載 ・東区役所でのチラシ・ポスター掲載 ・犬島学園卒業生へのご案内はがき送付 ・朝日学区へのチラシ
学区地区への広がり	※小学校区・地区より狭い範囲（単位町内会等）での事業を実施される場合は、学区・地区等への活動の広がりや課題の共有などをどのように進めていきますか。取組方について記載してください。 ・朝日地区から、器具などをお借りする ・朝日学区には、すべての情報を開示 ・朝日学区の住民も運動会に参加したくなるしくみ（町内会対抗リレーとか）も加える ・朝日学区の漁業組合、老人会、町内会と密な情報交換で、この企画の目的を広げていく

前年度からの見直し拡充点	※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。 ・新規企画のため、割愛
次年度以降の予定	※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。 ① 次年度以後の活動計画 ・3月と9月のお彼岸時に実施予定 ・上記を定番化させるためのイベントや情報共有の企画実施 ・「移住体験ツアー」の定期的開催 ・「犬島を楽しむ小包」の会員化 ②資金の確保について ☒ 次年度も区づくり推進事業を申請する予定 ☐ () 年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	・「犬島未来を考える会」は、島民14名で構成された組織で、20歳代～80歳代まで。2016年11月から活動。 ・そこから派生した活動として「犬島おかあさんの元気市」「元気新聞」などがあります。

事業スケジュール (企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。)

月日	活動内容
4月	
5月	
6月	
7月	7/11 未来を考える会にてプログラム検討 7/25 未来を考える会にてご案内内容確定
8月	8/1~卒業生にご案内はがきなど送付 8/4-5 移住体験ツアー 8/22 未来を考える会にて実施内容検討・次回の日程調整
9月	9/5 未来を考える会にて実施体制、内容決定 9/19 未来を考える会にて最終打ち合わせ 9/24 運動会開催
10月	10/3 未来を考える会にて総括 —卒業生メーリング企画化検討→第1回News Letter発行 10/17 未来を考える会 10/28-29 移住体験ツアー開催 10/31 未来を考える会
11月	第2回News Letter発行 11/14未来を考える会 —「犬島を楽しむ小包」の詳細決定 11/28未来を考える会
12月	12/②-③ 移住体験ツアー開催 3月のご案内チラシなど完成 第3回News Letter発行+「犬島を楽しむ小包」募集開始 12/12未来を考える会 12/26未来を考える会 「犬島を楽しむ小包」第1回目発送
1月	第4回News Letter発行 1/9未来を考える会 1/23未来を考える会 「犬島を楽しむ小包」の総括→春の企画
2月	第5回News Letter発行 2/②-③ 移住体験ツアー開催 2/6未来を考える会 2/20未来を考える会 「犬島を楽しむ小包」春の募集開始

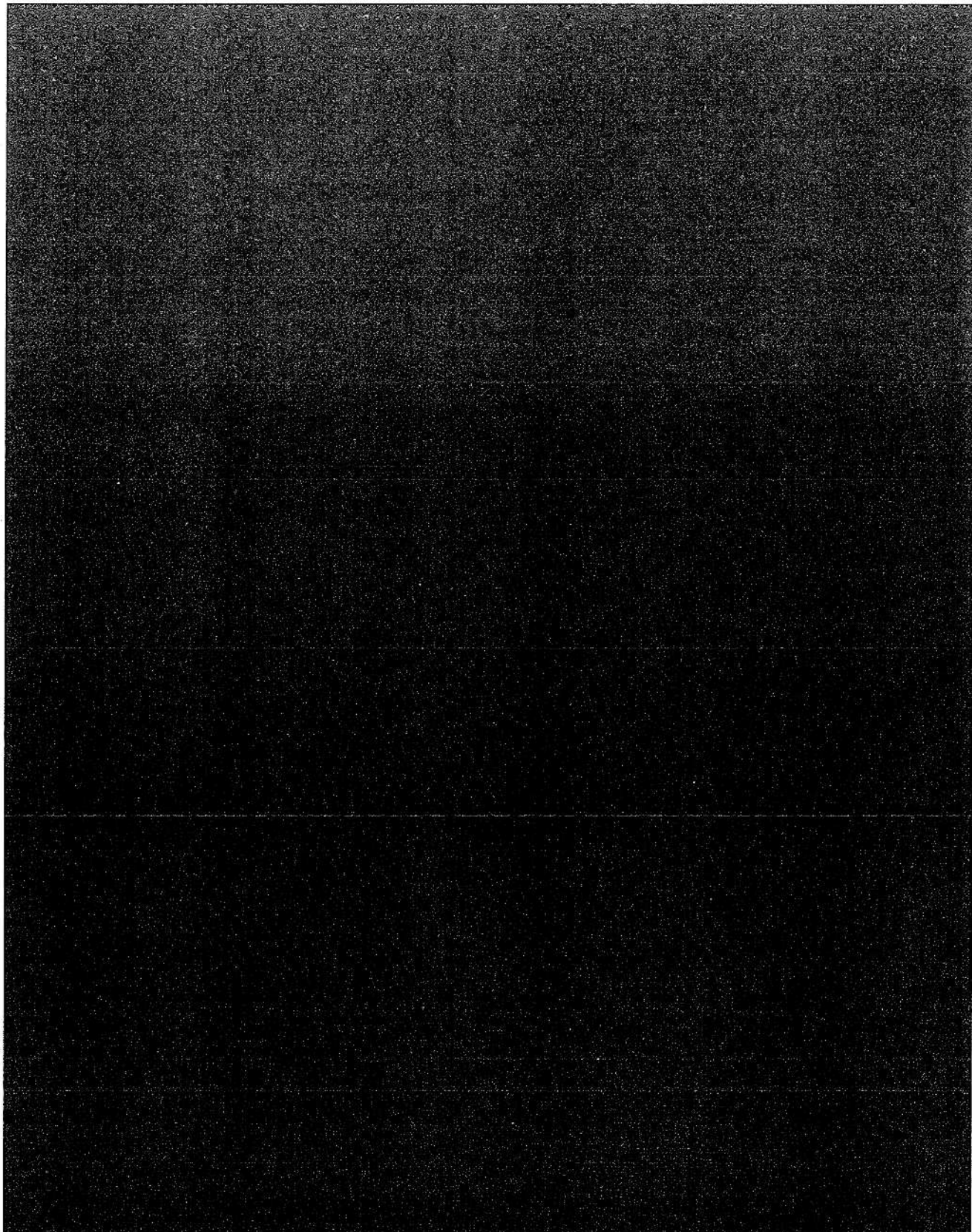
3月

第6回News Letter発行

3/25（仮）春の犬島学園復活運動会開催

3/6未来を考える会

3/20未来を考える会



収支予算書

◆収入

単位:円

項 目	前年度決算 (決算見込可)	予 算	備 考
岡山市補助金	0	685,700	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	0		
参加者負担金	0	165,000	・移住体験ツアー(参加費1万円)×4名×3回 ・小包販売 15×3000円
協賛金	0		
寄付、他収入	0	6,516	
計		857,216	

◆支出

単位:円

費 目	前年度決算	予 算	備 考
印刷製本費	0	183,600	① 9月用 販促チラシ:デザイン費5万円+印刷費@5×2000部 ② 3月用 販促チラシ:デザイン費5万円+印刷費@5×2000部 ③ NewsLetter 1回目 100部×@3 ④ NewsLetter 2回目 150部×@3 ⑤ NewsLetter 3回目 200部×@3 ⑥ NewsLetter4回目 200部×@3 ⑦ NewsLetter5回目 250部×@3 ⑧ NewsLetter6回目 300部×@3 ⑨ 「犬島を楽しむ小包」の案内チラシ デザイン費5万円+印刷費@5×2000部
通信運搬代	0	135,300	① 卒業生へご案内状送付 150部×@82 ② 3月のご案内状送付300部×@82 ③ NewsLetter 1回目 100部×@82 ④ NewsLetter 2回目 150部×@82 ⑤ NewsLetter 3回目 200部×@82 ⑥ NewsLetter4回目 200部×@82

			⑦ NewsLetter5 回 250 部 × @82 ⑧ NewsLetter6 回 300 部 × @82
借入料・賃貸料		260,196	・運動会用器具レンタル(テント含む) 114,098 ・配送チャーター@4000×4 回 上記 1 回分×9 月、3 月
消耗品費		150,000	運動会用資材 40,000×9 月、3 月 文具・封筒など資材 10,000×9 月～3 月
食糧費		29,120	・会議使用の飲料代 @160×13 人×14 回
報償費		90,000	・移住体験ツアーの際の講師 @30000×10,12,2 月
旅費		9,000	・移住体験ツアーの際の講師 @3000×10,12,2 月
計		857,216	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	☒ 希望しない
-----------	------	---

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。

